久留米工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語Ⅴ

科目基礎情報

科目番号	5E01	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気電子工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	Step-up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test -Intermediate- (Asahi press)		
担当教員	徳永 正尚		

到達目標

1．適切なコミュニケーションができるリスニング力を習得する
2．適切なコミュニケーションができるための語彙力・文法力を習得する
3．適切なコミュニケーションができるための読解力を習得する

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
言語・文化の知識・理解	学習した言語知識（文法・語法等）や文化を十分に理解している。	学習した言語知識（文法・語法等）や文化を概ね理解している。	学習した基礎的な言語知識（文法・語法等）や文化をあまり理解していない。
理解	テキストのレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを十分理解できる。	テキストのレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを概ね理解できる。	テキストのレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどをあまり理解できない。
表現	学習した言語知識を使用して，適切な英語で十分に表現することができる。	学習した言語知識を使用して，適切な英語で概ね表現することができる。	学習した言語知識を使用して，基礎的な英語で表現することができない。

学科の到達目標項目との関係

JABEE E-2

教育方法等

概要	テキストの内容を中心に授業を進める。TOEICで出題される問題の傾向をつかみ，語彙や文法を学び，リスニングやリーディングの練習問題をすることでTOEICテストへの実践力を身につける。
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って進める。適宜課題（ネット・アカデミー等）を出すので，必ず提出すること。
注意点	（1）成績配分：中間考査・期末考査80%，平常点20%（a小テスト，b課題，c英語学習・コミュニケーションへの関心・意欲・態度）で最終成績は総合的に判断する。定期考査は原則として①「言語・文化の知識・理解」，②「情報や考えの理解」，③「表現」の3観点からの能力を測る。 （2）評価基準：60点以上を合格とする。 （3）再試験：原則として行わない。ただし，平常点（b.c）に特に問題がない場合，個別の状況に応じて行うことがある。 （4）授業には英和辞書を持参すること。スマートフォンの辞書の使用は認めない。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Introduction（新TOEIC形式、目標）、Unit 1 Eating Out 動詞の時制の決定（１）	演習問題をとおして「外食」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		2週	Unit 2 Travel 動詞の時制の決定（２）	「旅行」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		3週	Unit 3 Amusement 品詞と語順	「娯楽」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		4週	Unit 4 Meetings 現在分詞と過去分詞	「会議」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		5週	Unit 5 Personnel 不定詞と動名詞（１）：動詞の目的語としての	「人事」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		6週	Unit 6 Shopping 不定詞と動名詞（２）：使役動詞 have, get	「購買」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		7週	Unit 7 Advertisement 仮定法	「宣伝広告」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		8週	中間試験	テキストを通して学習した内容の確認。
	2ndQ	9週	試験返却・見直し、Unit 8 Daily Life 受動態	「日常生活」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		10週	UNit 9 Office Work 不定代名詞	「業務」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		11週	Unit 10 Business 数量詞と単複	「ビジネス」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		12週	Unit 11 Traffic 従属接続詞	「交通事情」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		13週	Unit 12 Finance and Banking 前置詞	「金融・銀行」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		14週	Unit 13 Media 語彙・コロケーション	「メディア」に関する語彙を学び、聞き取り、読解、文法を習得する。
		15週	Review Test -100-	学習の成果をみる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	

				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	定期考査	平常点	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	0	80
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	20	20